

令和2年お茶づくり技術情報 (No.4)

2020年(令和2年)4月7日
佐賀県茶業技術協会
佐賀県茶業試験場

1. 気象と生育

1) 生育状況(茶業試験場内作況調査ほ場)

表1 作況調査園の芽長と開葉数

調査日		4月5日	
芽長	本年	1.33	± 0.36
(cm)	前年	1.28	± 0.34
開葉数	本年	0.28	± 0.25
(枚)	前年	0.45	± 0.32

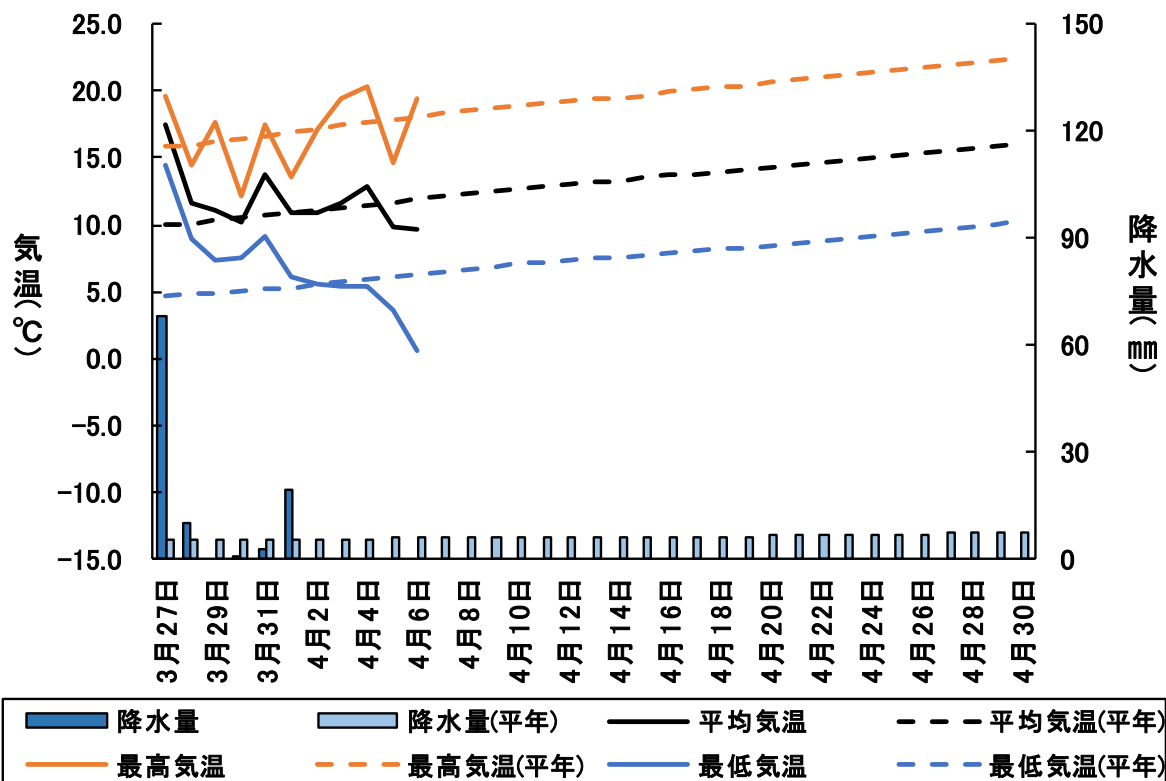
注) 品種: やぶきた 樹齡: 19年生

- (1) 茶業試験場内の作況調査園(定点調査園、品種: やぶきた)において、2020年3月27日に一番茶の萌芽を確認した。本年の萌芽日は、前年(3月28日)より1日、前3か年平均(4月3日)より7日早い。
- (2) 萌芽後、芽の伸長は前年とほぼ同等で進み、葉の開葉は前年よりやや遅れている。



写真 作況調査園の新芽の生育状況(4/5撮影、品種: やぶきた、樹齡: 19年生)
(左: 頂芽 右: 側芽)

2) これまでの気象 (一番茶萌芽後)



(1) 一番茶萌芽後の気象は、平均気温は、ほぼ平年並に推移した。降水量は、萌芽期の前後(3月26~28日)に、まとまった降雨(合計105mm)があり、その後も適度な降雨が続いた。

3) 今後の気象の見通し

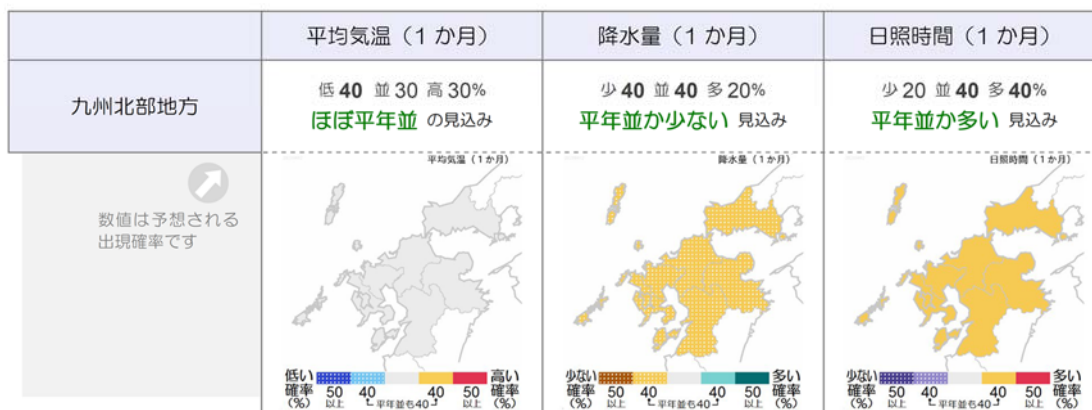
向こう1か月の天候の見通し

福岡管区気象台

九州北部地方 (4月4日~5月3日)

1か月予報 (令和2年4月2日発表)

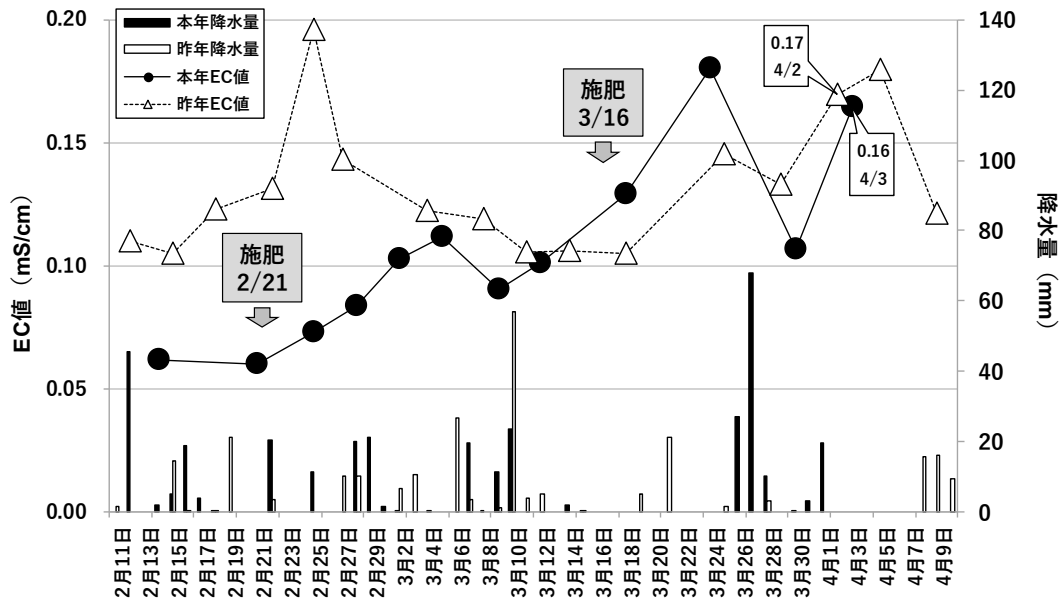
1か月の平均気温・降水量・日照時間



(1) 向こう1か月(4月4日~)の天候は、平均気温はほぼ平年並、降水量は平年並か少ない見込みである。

2. 今後の管理

1) 施肥



- (1) 試験場内の土壌 EC は、3月 26～28 日にかけて、まとまった降雨（合計 105mm）により一時低下したものの、最新の EC 値は 0.16（4月 3日測定）と前年とほぼ同等に推移している。
- (2) 芽出し肥の施用など、まだ終わっていない場合は、早めの施用、管理を心掛け、管理が遅れないように注意する。

2) 降霜対策

- (1) 4月 6日早朝の冷え込み（最低気温：0.7℃）による降霜で、試験場内ほ場において凍霜害の影響を受けた茶園が確認された。
- (2) 凍霜害の影響を受けた場合は、以下の対応例を参考に管理を行う。

生育ステージ	被害程度	対応策
萌芽期～2葉 開葉未満	被害の程度にかかわらず	そのままにしておく
2葉開葉～ 4葉開葉	1.部分的で被害部と無被害部が はっきりしている場合	そのままにしておき、拾い摘み、または部分摘採を行う
	2.部分的で被害部と無被害部がはっきりしない場合	①被害芽率が低い場合 そのままにしておく
		②被害芽率が高い場合 被害部を除く程度に軽く整枝する
	3.被害が全面的の場合	被害部を除く程度に軽く整枝する
摘採期直前	1.被害が部分的の場合	拾い摘み、または部分摘採する
	2.被害が全面的の場合	刈り捨てて二番茶に期待する

※『茶大百科Ⅱ（農文協）』から抜粋

3) 病虫害対策

病虫害防除については、『令和2年度佐賀県施肥・病虫害防除・雑草防除のてびき』を参照してください。